

今後の地域医療構想調整会議の進め方（案）

地域医療構想調整会議での議論の進め方については、国の「医療計画の見直し等に関する意見のとりまとめ」（平成 28 年 12 月 26 日）によると、構想区域における将来の医療提供体制を構築していくための方向性の共有に向けて、

- ・ 構想区域における医療機関の役割の明確化
- ・ 将来に病床機能の転換を予定している医療機関の役割の確認

等が求められている。

本県の地域医療構想調整会議には、各地域の二次以上の救急医療機関の代表者に参加していただいているところである。

病床の機能分化・連携に向けて、各医療機関の自主的な取組みと地域医療構想調整会議等における相互の協議を進めていくためには、地域において中核的な役割を担っている医療機関の今後の方向性をその地域の他の医療機関が一定程度把握できるようにすることが必要と考えられる。

そこで、地域医療構想調整会議での議論を進めるに当たり、地域の中核的な医療機関の方向性を関係者が共有することを目的として、以下のアンケートを実施した上で、必要に応じて会議で説明していただくこととしたい。

<アンケート項目（案）>

- ・ 病棟ごとに算定する入院基本料等の今後の方向性
- ・ 病棟ごとの今後の建替え、改修等の今後の方向性
- ・ 4 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）の医療連携体制の中で担っている役割の現状と今後の方向性
- ・ 主な診療科ごとの医師数の現状と今後の方向性

<対象>

- ・ 二次以上の救急医療機関

医療機能等の今後の方向性についてのアンケート(案)

病院名

28年度病床機能報告で貴院から御報告いただいた病棟ごとの病床数、医療機能、算定している入院基本料等は以下のとおりです。
この報告内容に関連して、以下の質問に可能な範囲でお答えください。

病棟ごとの現状の病床数・医療機能・入院基本料等 (平成28年度病床機能報告における報告内容)			
病棟名	病床数(床)	医療機能	算定している入院基本料等
(例)			
東1病棟	50	高度急性期	一般病棟7対1入院基本料
東2病棟	50	急性期	一般病棟10対1入院基本料
西1病棟	50	急性期	一般病棟10対1入院基本料
西2病棟	50	回復期	回復期リハビリテーション病棟入院料1

質問1 28年度病床機能報告における報告内容から、今後(概ね6年後まで)変更が見込まれる点があれば、以下に可能な範囲で記入してください。
現時点では変更予定がない場合は「変更予定なし」、未定の場合は「未定」と記入してください。
また、例えば、入院基本料を変更する予定はあるが、その区分までは明確に決まっていない場合などは、記入できる範囲でお答えください。

病棟ごとの病床数・医療機能・入院基本料等の今後の方向性				
病棟名	病床数(床)	医療機能	算定する入院基本料等	変更の時期 (概ね6年後までの見通しを記入いただいておりますが、さらに具体的に時期が見込まれる場合は記入してください。)
(記載例)				
東1病棟	変更予定なし	変更予定なし	変更予定なし	
東2病棟	変更予定なし	変更予定なし	変更予定なし	
西1病棟	変更予定なし	回復期	地域包括ケア病棟入院料1か2	平成32年頃までに
西2病棟	変更予定なし	変更予定なし	変更予定なし	

4疾病ごとに医療連携体制の中で担う役割についてのアンケート(案)

病院名 _____

質問3 以下の各疾病、各ステージごとに、医療連携体制の中で担っている役割についてお答えください。
さらに、それぞれの今後（概ね6年後まで）の方向性（拡大、現状維持、縮小、未定）について可能な範囲でお答えください。

がんの各ステージ	医療連携体制の中で担うことのできる役割											
	現状(可能な場合○を記入)						今後の方向性(拡大、現状維持、縮小、未定)					
	胃がん	肺がん	乳がん	大腸がん	肝がん	子宮がん	胃がん	肺がん	乳がん	大腸がん	肝がん	子宮がん
① 発症予防の機能【予防】												
② 地域の医療機関によるがん診療機能【治療】												
③ がん診療連携拠点病院によるがん診療機能【治療】												
④ 在宅療養支援機能【療養支援】												
(補足説明)												

脳卒中の各ステージ	医療連携体制の中で担うことのできる役割	
	現状(可能な場合○を記入)	今後の方向性(拡大、現状維持、縮小、未定)
	① 発症予防の機能【予防】	
③ 救急医療の機能【急性期】		
④ 身体機能を回復させるリハビリテーションを実施する機能【回復期】		
⑤ 日常生活への復帰及び(日常生活の)維持のためのリハビリテーションを実施する機能		
⑥ 生活の場で療養できるよう支援する機能【維持期】		
(補足説明)		

急性心筋梗塞の各ステージ	医療連携体制の中で担うことのできる役割	
	現状(可能な場合○を記入)	今後の方向性(拡大、現状維持、縮小、未定)
	① 発症予防の機能【予防】	
③ 救急医療の機能【急性期】		
④ 身体機能を回復させる心臓リハビリテーションを実施する機能【回復期】		
⑤ 再発予防の機能【再発予防】		
(補足説明)		

糖尿病の各ステージ	医療連携体制の中で担うことのできる役割	
	現状(可能な場合○を記入)	今後の方向性(拡大、現状維持、縮小、未定)
	① 合併症の発症を予防するための初期・安定期治療を行う機能【初期・安定期治療】	
② 血糖コントロール不可例の治療を行う機能【専門治療】		
③ 糖尿病の慢性合併症の治療を行う機能【慢性合併症治療】		
④ 急性合併症の治療を行う機能【急性増悪時治療】		
(補足説明)		

診療科ごとの医師数に関するアンケート(案)

病院名

質問4 貴院の常勤・非常勤医師数の現状（平成29年6月1日時点）について、医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の際に御提出いただいている病院従事者調を御参考にお答えください。
 下記の診療科以外に係る医師数は、医療機関全体の医師数との差引きにより自動計算されるため、記載不要です。
 また、それぞれの医師数の今後（概ね6年後まで）の方向性（増加、現状維持、減少、未定）についても、可能な範囲でお答えください。

診療科	常勤医師数		非常勤医師数	
	H29.6.1現在の人数	今後の方向性 (増加、現状維持、減少、未定)	H29.6.1現在の人数	今後の方向性 (増加、現状維持、減少、未定)
医療機関全体				
内科				
外科 《自動計算により算出》				
脳神経外科				
心臓血管外科				
その他外科				
小児科				
整形外科				
救急				
産科・産婦人科				
その他の診療科 《自動計算により算出》				

- ※1 複数の診療科を兼務している場合は、主たる診療科で記載してください。
- 2 呼吸器、循環器、消化器などの内科は、全て内科に記載してください。
- 3 婦人科のみの医師は、「その他の診療科」に区分されるように記載してください。